

101)

気管支喘息に対する柴朴湯の作用 — 実験的 L A R に対する影響 —

近畿大学医学部第4内科

○東田有智, 上西豊基, 津谷泰夫, 中島重徳

【目的】重症難治性喘息と関連の深い遅発型気道反応(以下L A R)の機序を明らかにするため, 即時型気道反応(以下I A R)およびL A Rが出現する喘息モデルを作製し, 各種薬剤の抗原暴露後の気道反応と気管支肺胞洗浄液(以下B A L F)中の細胞成分におよぼす影響を検討した。

【対象・方法】体重250～350gのHartley系雄モルモットを用い, ovalbumin(以下O A)感作による2相性喘息反応モデルを作製した。この感作モルモットに柴朴湯エキス原末液(以下柴朴湯)100mg/kg/ml, 200mg/kg/ml, 500mg/kg/mlを1週間経口投与, 5-リポキシゲナーゼ阻害剤であるAA-861 250mg/kg, 500mg/kgを5%アラビアゴム液に懸濁調製し1週間経口投与後O A mg/ml 1分間吸入誘発試験後の気道反応とB A L F中の細胞成分の検討を継続的に行い, control群と比較検討した。

【結果】

1. 柴朴湯100mg/kg/ml前処置ではI A R, L A Rともに抑制されず, L A R時のB A L F中の好酸球数も増加した。
2. 柴朴湯200mg/kg/ml前処置ではI A R, L A Rともに抑制されず, L A R時のB A L F中の好酸球数も増加した。しかし100mg/kg/ml前処置より好酸球数の増加は軽度であった。
3. 500mg/kg/ml前処置ではI A Rは出現したがL A Rは出現しなかった。またO A吸入後4時間のB A L F中の好酸球の増加も軽度であった。
4. AA-861 250mg/kg 前処置ではI A R, L A Rともに抑制されず, L A R時のB A L F中の好酸球数も増加した。
5. AA-861 500mg/kg 前処置でもL A Rは出現したがL A Rは出現せず, O A吸入後4時間のB A L F中の好酸球数の増加も軽度であった。なおD S C G前処置についても目下検討中である。

以上の結果より, L A Rと好酸球とは直接的あるいは間接的に密接な関連を有していることが示唆された。